



氏名 大森 貴志

フリガナ オオモリ タカシ

勤務先名 こころね訪問看護ステーション春日町

## 協会、士会役員歴・立候補趣旨

2015年4月～2019年3月 島根県理学療法士会 学術局学会部部长  
2019年5月～現在 島根県理学療法士会 理事(事務局)、規約組織検討委員会  
委員長、公益社団法人推進委員会 委員長  
学会審議委員会 事務局  
2019年10月～現在 組織再編ワーキンググループ  
2020年2月～現在 第19回島根県理学療法士学会 学会長

私は学会部で活動し県学会の運営を通じて会員や地域の皆様に貢献できる取り組みを持続可能なものとするには、事務局機能の強化が必要と感じ前回理事へ立候補をしました。

事務局を担当した1期の間、規約組織検討委員会では部局の活動が円滑に行えるように各種規程の修正や作成を行いました。また、島根県理学療法士会の組織再編について検討するワーキンググループでも活動をさせていただきました。

この2年間を通じて改めて県士会員のメリットとは何か考えました。これまで会員が受けてきた学会や研修会といった学びの機会の提供だけでは、これからオンライン学習が普及していく中では魅力を感じるものが少なくなった会員もいるかもしれません。メリットには「利点」と「価値」という意味があります。2020年はコロナ禍で従来の生活が送れず医療従事者にとっては苦しい日々でしたが、人とのつながりを持つことの大切さを改めて感じた1年でもありました。会員同士がつながりを持つこと、悩みや苦勞を共有しその中でもできることを模索して日々の仕事に共に取り組むことは「価値」につながるのではないのでしょうか。私自身はコロナ禍においても県士会の活動を通じて、孤独感を感じることは少なく仕事に取り組めました。

学術や職能に関する事業を通じて地域に貢献できる会員を育成するためには、その基盤となる組織力が重要です。「会員のつながりを守る」ために事務局運営に取り組んでいきます。今後も島根県理学療法士会の発展に向けて活動して参りたいと考えています。何卒よろしくお願い申し上げます。